ＪＡＭ神奈川シニアクラブ第 20 回定期総会

感染症対策を万全に代議員総会で開催　政策制度要求など活動方針を確認

神奈川シニアクラブ　事務局長　加藤照雄

10 月 23 日（金）14 時からＪＡＭ神奈川シニア第 20 回定期総会を、神奈川県労働文化センター（新杉田）にて開催した。

今回の総会は、新型コロナ感染対策により、例年規模（70 名出席）の役員・代議員の招集を止め、来賓の招待も取り止めた。

総会は、各シニアクラブの幹事の方を各組織の代議員総代として委任し、出席 役員・幹事 27 名で開催、テーブルも三密を避けた配置とした。

総会の新田会長の挨拶では、安倍政権が忖度政治などで内外に政策危機となり、コロナ対応、自身の体調不良により追い込まれ退陣したが、後釜の菅政権は、安倍政権と変わらないものとなった。私たちは、安倍政権によって後退した福祉問題について、高齢者を取り巻く「８０５０問題」「２０２５問題」など、政策制度要求に取り組まなければならない。

祝辞の紹介の後、２０２０年度経過報告、決算報告、監査報告があり、２０２１年度の活動方針、予算案が提案され承認された。

活動方針は、①新しい幹事との協力によるシニア組織の拡大活動。②充実した社会保障を目指して政策制度の作成・要求。③高齢者問題の学習会・研修会と福祉施設などの見学。④各シニアクラブの親睦交流レクリエーション活動の開催。⑤機関誌発行。⑥会設立 20 周年記念行事の検討。